

「鉄道特性活性化PT」第2回会合！

将来の鉄道の発展にむけて活発な意見交換！

JR連合は、4月22日、議員会館で鉄道特性活性化プロジェクト（以下PT）第2回会合を開催した。会合には、座長の三日月大造衆議院議員（滋賀3区）、アドバイザーの専修大学太田和博教授、単組の代表者、JR連合役員ら17人が出席し、活発な意見交換を行った。



冒頭、主催者を代表し、JR連合坪井会長は「人口減少、高齢者社会など鉄道を取り巻く環境は厳しさを増すが、鉄道の発展に寄与する政策立案を行っていききたい」と決意を述べた。

議事では、国交省鉄道局から、鉄道活性化のための施策と題して、鉄道施設の老朽化対策、幹線鉄道ネットワークの充実、地域鉄道の活性化等について説明を受けた。

その後、JR連合から、鉄道が取り巻く環境・将来見通しについて、大都市圏及び路線別の状況を輸送密度比較により、課題提起を行った。

また本プロジェクトの基本戦略として、①地域に密着した地域と共に発展する戦略②都市間輸送の更なるブラッシュアップ③他交通機関との連携強化④環境変化に適合した戦略⑤海外輸出戦略を柱とした提起を行い、参加者相互で活発な意見交換を行った。

日本は世界でも類例のない超高齢化・人口減少時代に突入し、大都市一極集中と地方の過疎化が同時に進行し、国土の不均衡状態が広がっている。鉄道産業に働く労働者として、より一層活力ある、魅力にあふれた鉄道産業を創り出していくため、基本戦略に基づき、今後議論を行っていくことを確認した。

